

AAAPに行ってきました！

8月23日から5日間、台湾南部の屏東大学にて第14回AAAPが開催され、我々が畜産資源研究室からは熊谷先生、私を含む発表者3名、同行者1名の計5名が参加しました。

学会名がアジア大洋州畜産学会ということもあり、学会ではアジアからの参加者が多く見られました。会場では飼料関係、生殖、育種、動物福祉等、様々な分野に関する発表が至る所で行われていましたが、私の専門である放牧、行動に関してはオーラルの発表がないという脅威的な人気のなさでとても残念でした。その代わりにエコフィードを専門にしているI田君は大いに楽しんでいるようでした。



私は、本学会でポスター発表を行いました。発表前は放牧に関する発表が少ないこともあり、人が来てくれるか心配でしたが、ポスターを掲示すると興味をもって下さる人もおり、とても楽しい時間が過ごせました。中でも同年代の研究者の方からとても興味深いと言って頂いたことが嬉しかったです。また、S井さんの計らいにより、かの著名なオルスコフ氏と写真を取れたこともいい経験となりました。

学会中は開催場所が台湾だったこともあり、とてもおいしく過ごすことができました。台湾では夜市というものが発達していました。台湾では夕飯を作る文化がないため、夕飯を調達する場所として屋台が連なった夜市ができたそうです。(真偽の程はわかりませんが…)夜市は祇園祭の宵山のような雰囲気、店先に食材が置いてあり、食材を注文してから調理して店内で食べるという形式の店が多かったです。料理は全体的に薄味でおいしく、中でも蛙がおいしかったです。



台湾は台北についてしか知らなく、今回は主に高雄に滞在するということだったので、旅行という面ではあまり期待をしていなかったのですが、実際に行ってみると高層ビルが立ち並び、人も多く、とても刺激的な街でした。学会として行くのも楽しいですが、今度は旅行として高雄に、また今回はあまり寄ることができなかった台北に行きたいと思いました。

(JC)



秘境“祖谷”かずら橋

目次:

広岡先生の随筆 @失敗に学ぶ	2
西やんです！ 行ってきました！畜産実習！	3
肉用牛研究会	3
牧場交流会	4
酒と泪と男とシャーマン ～浮かれない夏2010～	4
お知らせ	5

2001年9月11日、米国同時多発テロが起こり世界に激震が走りました。その前日の9月10日、日本初のBSE感染問題が発生し、国内畜産に衝撃が走りました。この影響を受けて、同じ反芻家畜である山羊肉を処理してくれる食肉加工センター(屠場)が減り、生産者は生まれた雄山羊を抱え、いまだに対応を模索しています。それから9年目を数える今年は、口蹄疫問題をとりあえずは終息したものの、今後の国内肉牛生産への影響が懸念されまます。各病気の正しい理解と、衛生管理。まず畜産にかかわる私たちがしっかりとしないといけませんね。

関西畜産学会

9月14～15日に京都大学大学院農学研究科で第60回大会関西畜産学会が開催されました。我が畜産資源学分野からは、熊谷先生と留学生の子チさんをはじめ、共同研究として、4本の研究発表を行いました。

子チさんは、初めての学会発表とあって、数日前からかなり緊張していましたが、落ち着いたいい発表でしたよ♪

畜資OBの安松谷先輩も所属先から発表された後、畜資の研究室にも寄って下さって、交流が図れましたね。

懇親会は、北部生協2Fの「ほくと」で開催さ

れました。大会委員長の久米先生のご挨拶には、いつもながらのユーモアが。「京都には美味しいものは少ないけれど祇園があります」。こじんまりとした中にも和気藹々とした会でした。ほとんどの料理は…飲み重視だったので…。個人的には、今までおしゃべりをしなことがなかった先生方とお近づきになれて、とても楽しかったです。2次会では、翌日のことも考えず盛り上がり…(^_^;)大変有意義でした♪



ようこ

好評連載 広岡先生の随筆

⑨失敗に学ぶ



サッカーの世界カップが終わり、やっと睡眠不足の日々から開放されて、日常が戻ってきた。毎回、ワールドカップではさまざまなドラマが生まれるが、私も含めて今回ほど日本人の特殊な習性を確認できたことはなかったのではなかろうか。ワールドカップが始まる前は、マスコミを始めほとんどの日本人は、全敗を予想して、まったく興味を示さず、ところが初戦のカメルーン戦



に勝利してからは、日本中が大騒ぎとなり、あの有名な釜本氏に至っては、前日にマスコミに対して「本田がワントップならば見ないで寝る」とまで言っていたのに、日本が勝利すると、次のオランダ戦は現地まで見に行かれたと聞く。

日本チームは予選リーグを見事に通過して、パラグアイ戦ではPK戦まで行ったが、PK戦に負けて惜敗して、日本チームの世界カップは終わった。しかし、その後も日本は大フィーバーで、選手たちは凱旋帰国となり、多くの人々が空港まで出迎えに行ったそうである。そのような世間の反応とは逆に、私は、どうしてもそれほど喜ぶ気にはなれなかった。もちろん、監督を始め、選手はよく頑張ったことは事実であるし、賞賛すべきであるとは重々頭では分かっているが、それにもかかわらず、なぜ、後1点が決められなかったのかと残念でならない。PK戦はまさに神の決める領域なので、仕方がないが、延長線まで1点決めてほしかった。

決勝のオランダ対スペイン戦では、後半オランダのロッペンがゴール前で決定的なチャンスを逃し、その後、イライラして盛んに審判に文句を言っていた。それを見て、妻は「終わったことなのではないので、早く気を取り直すべきなのに」と言っていたが、私にはロッペンの気持ちは痛いほど分かった。彼は、経験上、決定的なチャンスはそう何度も来ることはなく、最高の大舞台で自分のミスが、ゲームそのものを大きく左右してしまったことを知っていたのだと思う。だから、自分のミスを悔やみあまり、いたたまれなくなり、イライラしてしまったのであろう。

近年、日本ではポジティブ思考がもてはやされている。多少の失敗を気にせず、前向きに生きる生き方、すなわちポジティブ思考こそが、最もよい生き方と見なされる傾向が強い。しかし、私はこの考え方には100%賛成できない。確かにポジティブ思考の持ち主本人は、ポジティブに考えて前向きに進んでもらってよいのだが、ポジティブで前向きと言うことは、イコール反省しないことを意味する場合が多く、結局、そのような「ポジティブ思考」の人は、同じ誤りを何度も繰り返し、回りの人々に大迷惑を与えているケースが結構多い。したがって、私には、失敗したことを悔やみ、強く反省して、同じ誤りを2度と繰り返さないよう努力する方がずっと重要ではないかと思えてならない。

今年は、学生たちにとっては受難の年で、就職がなかなか決まらず、いまま四苦八苦している学生がいる。多くの企業に訪問し、内定が得られないことに、それらの学生は、全人格が否定されたと勘違いして、かなり落ち込んでいるようである。特に、ずっと成績優秀で、挫折を知らない学生にとっては、ショックの大きさは計り知れないように見える。しかし、原則として結婚と就職は、縁のもので、しかも、うまくいったと思っても後に大いに後悔することも多い。したがって、長い人生なので、それほど気にすることはないのであるが、そうは言っても、多くの企業に断われたことには、何等かの原因のあるとも考えられるので、うまくいかなかった点の一つ一つ反省してみて、次に活かすことも重要である。

オランダでは、テレビのサッカーの試合の後に、勝っても負けても反省の時間があり、解説者が勝因あるいは敗因について議論し合う。それでなくとも、サッカーで応援するチームが負けた時ほど悔しいことはないのに、それでも反省し、議論し合う風土、そこにオランダのチームの強さの秘訣がある。

何につけても、失敗したら、それを反省して同じ過ちを繰り返さないようにする時にこそ、大きな飛躍のチャンスがある。そのことに早く気づくことが成功への早道である。

(これは、ワールドカップ直後に書いたものである)

広岡博之

西やんです！ 行ってきました！畜産実習！

牧場に着くなり、牛の精子採取と直腸検査というなんとも強烈な実習で心が折れそうになりました笑

前回の実習では、直腸検査のあまりの気持ち悪さに、肛門に手を入れるなり、もう卵胞の位置分かりました！と嘘ついて乗り切りましたが、今回は嘘が通じず(笑)きっちりと卵胞の位置が分かるまで手を突っ込まれました。気持ち悪かったけど、ちゃんと卵胞の位置が分かって良かったのかな…

全体的に2回生の時よりも色々なことをさせていただきました。牛の体型測定とか、採血とか……



どれも牧場でしか出来ない事で新鮮でした。ただ去勢だけは何度見ても可愛そうですね……同じ男として、あの壮絶な光景は見られません涙

続いて食事ですが、BBQの時の最高級サーロインステーキをはじめ、普段の食事も美味しくて、悔しくも、肥育されてしまうはめに。実習後半には、明らかに最初より体型が変わっていると友達に指摘され、正直情けなかったです……涙

また今回の実習、技官さんとは一緒に飲んだり、実習中も積極的に話せたりして交流が深められたと思います。皆フレンドリーな方で楽しかったです！

特に吉岡さんはカッコいい上に僕の下ネタにも付き合っていてありがたかったです！笑

そして今回の実習の裏の一大イベントとも言える院試験発表がありました。正確には僕らの実習中に、農学部構内で院試験の発表が行

われていて、実習が終わるまで我慢できずに、京大にいる友達から掲示板を写メールで送ってもらった感じです。

発表の直前には心配のあまり、風呂場で鼻血を出してしまう仲間もいたようですが笑 結果は動物系全員合格で、北川先生にも酒宴を開いていただく事になりました。ほんとによかったです！！

夜の自由時間はほぼマージャンをしてました。5人でまわし打ちしていました。

生体機構の奴が手がつけられなくて、安在さんの善戦むなしく、僕と前野が仲良く討ち死にしてしまいました……涙

それから、夜、わざわざビールを差し入れをしてくださった広岡先生のご好意に感激！どうもありがとうございます！

そんな感じで今回の実習は仲の良いメンバーと一緒にあった事もあり、結構楽しかったです！！そして人の温かさにも触れられたと思います。差し入れをくださった方々、ほんとにありがとうございました！！



最後に実習の写真を載せときます！個人的には結構いい写真だと思います。



西田

肉用牛研究会

9月15・16日は、関西畜産学会に引き続き、第48回肉用牛研究会が開催されました。1日目の特別報告では、宮崎大学農学部の堀井先生から、今回直面した口蹄疫問題について貴重なお話をうかがう事ができました。続くシンポジウム「和牛繁殖雌牛の生産性向上に向けて」では、育種面、栄養面からのアプローチと現場の事例など力強い報告がありました。遠くに出かけずお弁当持参で興味深いお話を聞くことができ、とてもラッキーでした。

本大会では、畜資のメンバーが大会運営(受付・会場係り)

のお手伝いをしましたが、はじめての学会お手伝いとは思えないほど、スムーズで、懇親会ではお褒めの言葉もいただきました☆担当の皆さんお疲れ様でした。

さて、2日連ちゃんの懇親会は、会場も2日連続の「ほくと」でしたが、懇親会費が2000円高かった分、メニューも豊富でした。肉用牛研究会から参加された先生方も多く、またたくさんの方々と交流がもてました。そして、また2次会に流れ……しばらくは、肝臓をいたわってあげたいと思います。 ようこ



二枚目参上

9月10日、滋賀県立大学から男前の羊がやってきました。小栗君(M1)の代謝試験のために、期間限定でお借りしているということです。野太い美声と、羊とは思えぬ人懐っこさが、ちょっとかわいい奴です。皆さん、可愛がって下さいね～☆



OG/OB参上

9月14日、関西畜産学会に参加された安松谷先輩が研究室に立ち寄って下さいました。初対面の人も多かったと思いますが、お中元のお礼を言うチャンスができてよかったですね♪
9月24日には、連休で京都を訪問中の西尾先輩が研究室を覗いてくれました。「絶対腐る」というお土産の誤解は解けたでしょうか(笑)。
OB/OGの皆様、お近くにくられる際は、ぜひお気軽にお越し下さいね～☆



牧場交流会

暑さで茹だりそうな8月31日、毎年恒例の附属牧場分野別交流会が開催されました。牧場実習中の4年生を応用動物系の5つの研究室メンバーが訪問し、教授陣、牧場の技官さん、学生がBBQを囲んで交流を深めます。附属牧場からは、園部駅までチャーターバスが用意され、往復の足も安心です。

今年も北川先生、牧場スタッフの皆さん、実習中の4年生が、早くからBBQや飲み物の準備をしてくださっていました。

午後4時半きっかりに、今年度の附属牧場長、祝前先生による口蹄疫問題や附属牧場の歴史などのお話で会はスタートしました。お馴染みの一人一枚限定特上お



肉、魚介におむすび…お酒も手伝って、用意された食材はものすごい勢いでみんなの胃袋へ納まっていきました。松山さん、いつも好物の『島美人』ご馳走様です！そしてなんとと言っても今年が目玉は、本物の竹を使ったそうめん流しでした☆脚立に上ってそうめんを流す人、下でお箸を持って待ち受ける人々、盛り上がりしていましたね～♪



太陽がやっと陰りを見せる頃、出来上がった学生たちのいつものパフォーマンス…ひとときわ高い声で盛り上がるもう一人のようこそさん…(^_^;)午後7時のお迎えバスに収容されて、無事(?)家路に着きました。

あ～楽しかった♪ようこ

酒と泪と男とシャーマン ～浮かれない夏2010～第1部

前回のアフリカ編に引き続き、今回はネパールでのお話。

ネパール南部に広がる平野部は「タライ平原」と呼ばれ、ネパールの西国境から東国境までをカバーするように国の南部地域に横たわっており、国土の17%を占めている。

ネパールの人々はみんな温厚で、夕暮れ時の田園風景などはどこか懐かしい昔の日本を彷彿させる。この「タライ平原」一帯は「チトワン国立公園」になっていて、世界的に希少な野生動物たちの宝庫ともなっている。私は今回六回目のネパール滞在ということもあって、現地生活を十分に楽しめるほどネパールに慣れてきた。

つもりだった。

ただ一つ、どうしても慣れないことがあった。

夏が非常に暑いということだ。5月から7月にかけてネパールは暑乾季に入り、雨は降らず、特

にタライ平原では日中の気温も40℃を超える。今回はそんな灼熱の大地でのお話。



私はタライ平原に位置する大学の牧場で試験をしており、

すでに牧場の人たちとは打ち解けている。みんな暑い中、薪に使用する大木を切ったり、苗木を植える穴を掘ったりと毎日が忙しい。それでも時間を見つけては、私の試験の様子を見にきてくれている。そんな彼らのために私は午前5時の餌やりを終えてから、牧場の仕事を手伝うことにしていた。牧場での仕事は非常に過酷で、ジリジリ照り付ける太陽が容赦なく体力を奪っていく。まだ若いと過信していた私は何も考えず、毎日現場の人たちと共に汗を流していた。

第2部へ続く…

さかい

Department of Animal Husbandry
Resources, Kyoto University,
Faculty of Agriculture
Oiwakekyo, Kitashirakawa,
Sakyo-ku Kyoto 606-8502 Japan

電話 075(753)6365

FAX 075(753)6365

http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/

GOAT BULLETIN



畜産資源学研究室

GOAT BULLETINは、皆様の投稿記事で
成り立っています。形式・文字数は問いません。
また、読者の方々からのご意見やお問合わせも
大歓迎です。下記のアドレスまでどしどし
送信してください。

E-mail: yoko3t@kais.kyoto-u.ac.jp

お知らせ

今月のゼミ

今月のゼミは、

10月 5日(火)	安在・徳山(4回生演習用)	14:45-16:15	E103
10月 7日(木)	中川(智)(修士中間発表)	10:40-12:00	E074
10月12日(火)	西田・前野(4回生演習用)	14:45-16:15	E103
10月19日(火)	加藤・スリタヤニ(文献レビュー)	14:45-16:15	E103
10月26日(火)	酒井・柳(文献レビュー)	14:45-16:15	E103

の予定です。急な変更などがある場合には、事前にお知らせします。ゼミ係り

動物生産システム論

後期から広岡先生の授業が始まりました。講義日程は10月13日から隔週水曜日、教室はE103です。

今月のイベント

8月&10月生まれのお誕生日さん合同お誕生日会を、10月上旬に予定しています。詳しい日時は追ってご連絡します。皆さんお楽しみに〜♪ イベント係り

システム農学会

11月6・7日に、『システム農学会2010年度秋季大会』が開催されます。発表申し込みの締め切りは10月7日(木)、講演要旨の締め切りは10月11日(月)です。

研究室の動向

今年度前期を以って、稲垣さん(M2)が畜産資源から巣立ちました。イベント係りや前期ゼミ係りとして指揮を執ってくれましたし、みんなの癒しでもあったので残念ですが、新しい道に向かって躍進して欲しいですね。これに伴い、後期から中川(靖)君(M1)がゼミ係りに就任しました。

2010年 10月の飼育当番表

日	月	火	水	木	金	土
9/26	27	28	29 石田・小栗 体重測定⊕千匹4頭	30	1	2
3	4	5	6 加藤・酒井・荒木 体重測定⊕成5頭	7	8	9
10	11 体育の日	12	13 児嶋・中川(靖) 体重測定⊕千匹4頭	14	15	16
17	18	19	20 安在・前野 体重測定⊕成5頭	21	22	23
24	25	26	27 西田・徳山 体重測定⊕千匹4頭	28	29	30
31	11/1	2	3	4	5	6

羊の体重測定に変更があります。代謝試験中の変更にもご注意ください。

編集後記 人生というのは、いつどこで何が起るかわからないものです(もともと、もし自分の将来が見えてしまっていたら、相当つまらないでしょうけど)。自分の力ではどうにもならないことも沢山ありますが、その時々への対応や選択が、その後の人生を決めることにもなります。分岐点は、過ぎてしまってから気づくことも多く「あの時、別の道を行っていたら…」と思うこともよくあることです。ただ、「人生の中で無駄なものはひとつも無い」ということ、「自らが選択した道は決して後悔しないものだ」ということを私は信じています。